

学校法人 東京聖徳学園

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属高等学校
- 聖徳大学附属聖徳高等学校
- 聖徳大学附属中学校
- 聖徳大学附属聖徳中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

SEITOKU FLASH 聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第24号
平成18年6月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>



SEICA(セイカ)

聖徳学園松戸キャンパスで

本稼動!!

- 主なトピックス■
- ・聖徳学園 松戸キャンパスで「SEICA(セイカ)」本稼動!!
 - ・5名の博士が誕生
 - ・インタビュー 「心理学の魅力を語る」
 - ・学生と地域市民との協働企画によるウォークラリー大会開催
 - ・SOFTで友だちがたくさんできました。幼児教育専門学校
 - ・小笠原流礼法御宗家による特別授業 附属中学校・高等学校
 - ・ドリルタイムで基礎固め 附属小学校
 - ・ベスタタッチ研究所所長及び前所長来園 附属幼稚園
 - ・「保育の聖徳®」夏の伝統行事 第39回 SEITOKU夏期保育大学

より豊かな未来に向け ISOをダブル取得

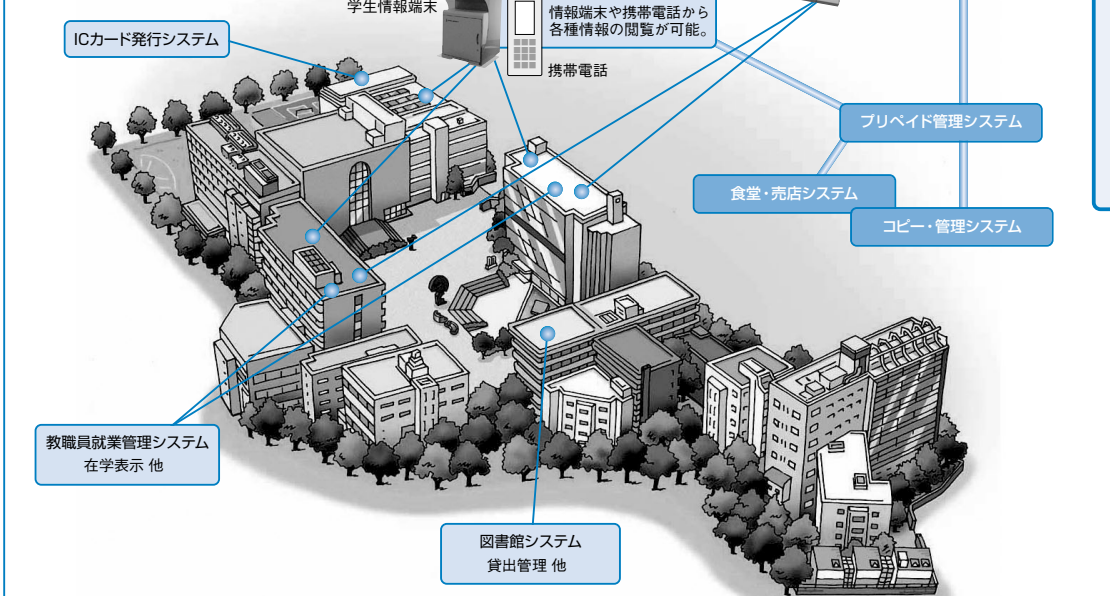
聖徳学園は、日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。高品質で、より良い教育を可能にするシステムを作り上げ、また地球環境を守る管理システムを整え、それらが国際機関の定めた規格で認証を得た今、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を開始します。

ISO9001 (教育の質マネジメントシステム)
ISO14001 (環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集
「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報誌です。本紙に関するご意見、ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<http://www.seitoku.jp/gakuen/toiwase/>
[「その他のご意見・お問い合わせ」まで]

SEICA (SEItoku campus CArd) システムの概要

キャンパス内各所に設置された端末から、様々なサービスを利用することができます。そしてパソコンや携帯電話からも学内情報を閲覧できるなど、利便性の高いシステムになっています。



- 利用できる各サービス
- 各種証明書発行
各種証明書は、手軽に即時発行。申請書の記入や窓口に出る必要はありません。
 - 学内情報閲覧
パソコンや携帯電話で休講などの学内情報を調べることができます。
 - プリペイド
学食の支払いもキャッシュレスでスムーズ。おサイフの代わりにして使えます。
 - 各種申請
模擬試験や追再試験の申請は、学生情報端末で行えます。
 - 図書館利用
資料の貸出手続きや、AVコーナー等利用の手続きもSEICAで行えます。

（財）短期大学基準協会が初めて行った平成十七年度の第三者による認定評価において、聖徳大学短期大学部は、短期大学の質の保証及び教育研究の向上充実に努め、（財）短期大学基準協会（理事長 川並弘昭）が定める短期大学評価基準を充たしていることを証明する、「第三者評価適格認定証」の交付を受けました。

平成十七年度第三者評価適格認定証贈呈式は平成十八年四月二十五日（火）ホテルグランドパレス（東京都千代田区）において行われ、初年度に評価を受けた三十の短期大学が認定証を交付されました。贈呈式には本学から松島副学長、上畑 ALO、

吉田事務局長が出席しました。

（財）短期大学基準協会理事長からお祝いの挨拶の中で、「短期大学の基準協会の構想から今日まで関わった者として非常に感慨深いものがある。また、調査を担当した評価員の皆様、評価を受けた短期大学の ALO 始め関係教職員の皆様の協力の賜であります。」という感想と共に、「評価を受けた短期大学に対して「これから後」に続く短期大学の見本として、今後とも精進していただきたい。」と話されました。

本学としても、これまで以上に精進努力してまいります。

※ ALO (Accreditation Liaison Office) 第三者評価連絡調整責任者

短期大学部に「第三者評価適格認定証」交付される

平成17年度 第三者評価適格認定証贈呈式

認定証の交付を受ける松島副学長

適格認定証
聖徳大学短期大学部
貴短期大学は平成17年度
第三者評価の結果 適格と認定する

JACA Accredited College Accreditation
ACCREDITED 2005
平成18年3月23日
財団法人 短期大学基準協会
理事長 川並弘昭

ヘスタロッチ研究所 関係者の来学

去る四月十七日(月)〜十九日(水)に、ペスタロッチ研究所(スイス・イヴェルドン市)所長アリソン先生、前所長ヴァリデル先生が初来学されました。同研究所には、十数年前から児童学科のヨーロッパ研修旅行の学生受け入れやスイスの学校・施設訪問などで大変お世話になっています。

今回、ヴァリデル先生は、児童学科三年生を対象に「ペスタロッチの生涯と思想―今日の保育・教育現場への影響」、アリソン先生は社会福祉学科二年生と児童学科社会福祉コース三年生を対象に、「ヨーロッパにおける障害児教育―統合保育・教育の現状」と題して、大変有意義な講演を行って下さいました。



アリソン先生



ヴァリデル先生

第二日目の附属幼稚園訪問(詳細は六ヶ幼稚園短信にもあります)では、鯉のぼりや五月人形が出迎える中でのクラス参観、附属小学校では歓迎セレモニーの後、食堂で児童と会食体験し授業や施設・設備見学。附属高校では礼法室の見学、書道教室での書写体験など、日本文化の伝統的な一面に触れていただきました。そして、第三日目には附

属小学校から大学までの教員、SOAの受講生、大学院生などを対象に、アリソン先生の「スイスにおける特殊教育」(通訳:社会福祉学科小島慶一先生)とヴァリデル先生の「ペスタロッチに学ぶ教育者のあり方」(通訳:児童学科 志賀淑子先生)という二つの講演を行って頂きました。お話の中でヴァリデル先生は、ペスタロッチの教育では、特に頭心・手のバランスが重視されたと強調されました。スイスから届けられたこのペスタロッチのメッセージは、今後も日本の教育現場に生かされることでしょう。

聖徳大学子育て支援社会連携研究センター 竣工式

去る三月三十一日(金)、聖徳大学子育て支援社会連携研究センターの竣工式が行われました。午前10時30分より落慶法要が営まれ、本学役員、教職員、工事関係者の出席のもと無事終了することができました。

同センターは、文部科学省「私立大学学術研究高度化推進事業」の「社会連携研究推進事業」において、本学の研究テーマ「連鎖的参画による子育てのまちづ

くりに関する開発的研究」が採択され、その研究拠点として新設されたものです。以前、生涯学習研究所として使用されていた一号館F棟(一階地下)が「子育て支援」にふさわしい施設として改修されました。これまでの文部科学省「私立大学学術研究高度化推進事業」における本学の研究拠点としては、家族問題相談センター、生涯学習社会貢献センター(共に「学術フロンテ

ィア推進事業」)に次いで、三つ目になります。川並弘昭理事長・学園長先生は、竣工式での式辞の中で、「同センターが親子で集える、親子幼稚園」と呼べるような場所となって、子育てについて実践・研究を推進していただきたい」とご挨拶され、新たな研究施設として、今後の成果に大きな期待を寄せられました。

新しい「学び」の一年がスタート! 平成十八年度SOAオープニングセレモニー開催

去る四月十五日(土)、春のやさしい陽射しが注がれた聖徳大学生涯学習社会貢献センターにおいて、平成十八年度SOAオープニングセレモニーが開催され、SOA会員の皆様、近隣地域の皆様など、約二百人の



講演する田中研究科長

方々にご参加いただき、大盛況のうちに幕を閉じました。メイン会場の十四階ホールでは、副学園長挨拶、SOA校長挨拶に続き、公開講演、ミニコンサートが行われました。講演は、聖徳大学大学院人間栄養学研究科長・田中平三教授を講師に招き、「いま日本の食を考える」と題し、食と健康についてユーモアをまじえた楽しいお話がありました。毎年好



音楽文化学科教員によるコンサート

評の、音楽文化学科教員によるコンサートは、モーツァルト生誕二百五十年にちな

なみ、素晴らしい演奏と宮廷舞踏が披露され、じつくりと芸術をご堪能いただきました。メイン会場終了後、懇親パーティーが十階キッチンスタジオで、体験模擬授業が七階で開かれました。懇親パーティーでは、紅茶とお菓子を召し上がりながら、参加者同士の交流を深めていただき、体験模擬授業では、「フラワーアレンジメント」と「トールペイント」の二講座にチャレンジしていただきました。皆様の生涯学習が素敵な実を結びます



好評だった体験授業

五名の博士が誕生

平成十七年度 博士後期課程学位記授与式



3月18日に行われた博士後期課程学位記授与式より

ました。五名が提出した博士論文はどれも高いレベルのもので、大変高く評価でき、五名の今後の活躍が多くの期待されます。



5人の課程博士誕生:左から2人目、山崎香さん、石原洋子さん(言語文化研究科)、右から3人目:東口みつかさん、梶原公子さん(人間栄養学研究科)、福山幸恵さん(児童学研究科)

所属(専攻)	氏名	博士論文題目
児童学研究科 (児童学)	福山 幸恵	読書による「生と死の教育(Death Education)」に関する教育心理学的研究
言語文化研究科 (日本文化)	石原 洋子	「無意識類副詞」とその周辺に関する研究
言語文化研究科 (日本文化)	山崎 香	幕末維新期における松前藩の政争 ―正義隊事件の背景―
人間栄養学研究科 (人間栄養学)	梶原 公子	若者の食行動と食意識の研究 ―より有効な食物教育をめざして―
人間栄養学研究科 (人間栄養学)	東口 みづか	禅宗修行僧の食生活および健康に関する研究

この度、大学院人間栄養学研究科博士後期課程澤田孝子さん(三年)、許斐亜紀さん(二年)の研究が(財)日本科学協会から研究助成(平成十八年度笹川科学研究助成)を受けました。指導教員は、両名とも人間栄養学科横井克彦教授(大学院人間栄養学研究科微量栄養素学特殊研究担当)です。この助成事業は、「人文・社会科学及び自然科学(医学を除く)または、境界領域の研究計画に関するもの」を対象にし、萌芽性、新規性及び独創性のある内容をもった研究内容で、意欲に満ち優れた研究を行う若手研究者の育成のため、その研究に対する助成を行うもの」となっており、助手と

所属:人間栄養学研究科
職名:博士後期課程3年
氏名:澤田 孝子
研究領域:複合

所属:人間栄養学研究科
職名:博士後期課程2年
氏名:許斐 亜紀
研究領域:生物

大学院生の研究、平成十八年度 笹川科学研究助成金獲得

大学院生を主な助成の対象としています。複合領域では、平成十六・十七年度に、東口みつかさん(平成十七年度本学博士号「栄養学」)授与)が助成金を獲得しています。生物領域で聖徳大学の大学院生が助成金を獲得したのは、今回が初めてです。なお、平成十七年度に生物領域で助成金を獲得した大学院生のうち、国立大学が九十三%を占めていました。

平成18年度

Seitoku
Orientation
Friendship
Tour

を終えて

大学・短期大学部



毎年恒例行事SOF Tが四月二十四日(月)・二十五日(火)の二日からスタートし、全九班編成にて行われました。このSOF Tは、新

緑の自然の中で、一泊二日の集団行動をすることにより、新入生と上級生、先生と学生がより強く結びつき、教育効果の増大をはかり、社会人になる上で必要な規則正しい団体生活訓練をすることを目的としています。また、この機により良い友達を多く作り今後の学生生活を有意義にしていきたいと思います。

新入生は、上級生と先生方に協力していただき楽しい時間をすごすことができました。

二日目は、箱根彫刻の森美術館を見学しました。彫刻の森美術館には、学園と関係の深い先生方の作品が数多くあります。普段何気なく見ているものが一流の芸術家の作品であることにここで気づいた学生もいたのではないのでしょうか。美術館で見た作品と同じ作者のことで、学生が芸術品



を身近に感じるよい機会になったのではないかと思います。芸術品・美術品を見たり、足湯に入ったり、友だちと一緒に食事をしたりとよい思い出を作ることができました。今後、この経験を生かし、さらに充実した学生生活を過して欲しいと願っています。

本学は、昭和八年(一九三三年)一月、創立者である川並香順・孝子夫妻が、長女泰子の急逝という悲しい出来事をきっかけとして、幼児教育・女子教育に生涯を捧げることを決心し、その年の四月、東京都大森の新井宿(現在の東京都大田区中央四丁目)に「聖徳家政学院」・「聖徳新井宿幼稚園」を開校したのが始まりです。

昭和二十年には戦災ですべてを失いましたが、苦勞をして、昭和四十年四月思いが通じ、この松戸の地において聖徳学園短期大学第一回入学式を挙行する運びとなりました。

その後、東京聖徳学園は、幼稚園七園、小学校、中学校二校、高等学校二校、幼

児教育専門学校、短期大学部、大学、大学院を有するまで飛躍的に成長しました。これまで短大では、最大三千二百名を超える入学者を迎えた年(昭和六十二年)があり、最も多い年で、七千名程の在学生が聖徳で学んでおりました。

今日、本学園がこのように発展した事を皆でお祝いする日として、創立者である川並香順先生がお亡くなりになった(昭和四十二年)四月二十七日を本学の「創立記念日」と定め

ました。そして、毎年、式典法要を行い、学園の発展を喜び感謝するとともに、和の精神について全教職員で考えるようになりまし

た。このような意味が「創立記念日」にはあるのです。

本学学生寮では「創立記念日」の夕食は特別メニューの「聖徳ちらし」です。

古くから日本では、お祝いの事や祭など特別の行事の時、餅や赤飯のほか、すしも作られてきました。

また、献立表にある「香順まんじゅう」ですが、創立者川並香順先生が甘いものが好きであったことになんて、学寮委員の先生方の発案で、平成十三年より作られているオリジナルの和菓子です。

どうぞ皆さんも感謝の気持ちをもって召し上がってください。

本学学生寮では「創立記念日」の夕食は特別メニューの「聖徳ちらし」です。

古くから日本では、お祝いの事や祭など特別の行事の時、餅や赤飯のほか、すしも作られてきました。

また、献立表にある「香順まんじゅう」ですが、創立者川並香順先生が甘いものが好きであったことになんて、学寮委員の先生方の発案で、平成十三年より作られているオリジナルの和菓子です。

どうぞ皆さんも感謝の気持ちをもって召し上がってください。

インタビュー

心理学科の魅力語る

心理学科 学科長 花沢成一先生
助教授 小澤真先生
助教授 種市康太郎先生

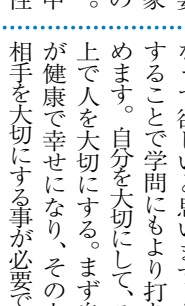
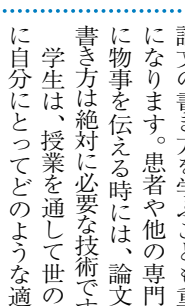
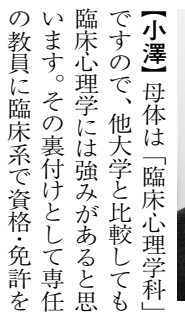
【小澤】母体は「臨床心理学科」です。他大学と比較しても臨床心理学には強みがあると思います。その裏付けとして専任の教員に臨床系で資格免許を取得して業務の経験のある教員が多いということが挙げられます。とりわけ、臨床心理学科を持つ他大学と比較しても専任で臨床心理士が十四名もいる学校は少ないと思います。また、大学院には臨床心理士養成に特化した臨床心理学研究科があり、さらに児童学研究科でも児童心理学を中心とした専門課程があります。ひとつの学科に対して、二系統の大学院を持っている事も大きな特長だと思います。

【種市】「人間」に興味のある人、心理学科の学生には、自分もカウンセリングをやりたいという動機で入学した学生が多く、学

校のカウンセラーになりたいという学生が多い。しかし、カウンセリングの領域は広く、例えば産業会社従業員、高齢者、非行等に対するカウンセリングもあり。自分のわからない範囲に対しては抵抗がある、興味がないという事ではなく、自分の全く関わらない人に対して興味を持って欲しいと思います。違う年齢層、性別、生活をしている人にも興味を持っていきけるかが、求められます。

【種市】さらに「基礎実験」でレポートを書き、それを見てもいい論文の書き方を学ぶことも重要になります。患者や他の専門家に物事を伝える時には、論文の書き方は絶対に必要な技術です。学生は、授業を通して世の中に自分にとってどのような適性があるかを学びます。その意味で学生は大きなセルフカウンセリングをしていると言えます。各先生は了解していて夢を築きなおすサポートをしています。

【種市】私も心理学以外で何か熱中できるものを持っている人になつて欲しいと思います。その上で人を大切にしたい。自分自身を大切にしたい。その上で人を大切にしたい。まず自分が健康で幸せになり、その上で相手を大切にすることが必要です。私生活で恋愛や友情を育む事も良いと思います。そして大学では心理学に打ち込む。そのほうが健康的で心理学の活動も広がると思います。



学科の魅力語る三先生

【種市】「人間」に興味のある人、心理学科の学生には、自分もカウンセリングをやりたいという動機で入学した学生が多く、学

校のカウンセラーになりたいという学生が多い。しかし、カウンセリングの領域は広く、例えば産業会社従業員、高齢者、非行等に対するカウンセリングもあり。自分のわからない範囲に対しては抵抗がある、興味がないという事ではなく、自分の全く関わらない人に対して興味を持って欲しいと思います。違う年齢層、性別、生活をしている人にも興味を持っていきけるかが、求められます。

【種市】さらに「基礎実験」でレポートを書き、それを見てもいい論文の書き方を学ぶことも重要になります。患者や他の専門家に物事を伝える時には、論文の書き方は絶対に必要な技術です。学生は、授業を通して世の中に自分にとってどのような適性があるかを学びます。その意味で学生は大きなセルフカウンセリングをしていると言えます。各先生は了解していて夢を築きなおすサポートをしています。

【種市】私も心理学以外で何か熱中できるものを持っている人になつて欲しいと思います。その上で人を大切にしたい。自分自身を大切にしたい。その上で人を大切にしたい。まず自分が健康で幸せになり、その上で相手を大切にすることが必要です。私生活で恋愛や友情を育む事も良いと思います。そして大学では心理学に打ち込む。そのほうが健康的で心理学の活動も広がると思います。

【種市】心理学は人についての学問ですから、人間がいるところ全てに心理学があります。何もカウンセリング、臨床の現場だけではありません。商売をすればお客さんがいて、会社に行けば職場内での人間関係、家庭にいれば家庭内での心理学があります。どこにでも心理学を生かすことができます。学生、そしてこれから心理学を勉強しようとする人にはこの点を意識し、自分のアピールポイントとして、活躍してもらいたいと思います。

【種市】心理学は「人間には個人差がある」というところから生まれました。いろいろな考え方があり、いろんな事を飲み込む必要があります。そこから大人になる幅の広い、心の広い人になつて欲しいと思います。

外国語学科

英語の基礎力は発音記号の習得

学生の英語の力は中学・高校の6年間に随分差が出ています。さて、あなたの基礎力は... 簡単なクイズを出しますので、答えてみてください。

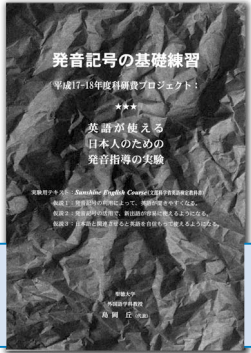
クイズ1: 「鼻」に当たる英語は? そうです。nose です。
クイズ2: nose の形容詞は? そうです。nasal です。
クイズ3: nasalの発音は、次のうちどれでしょうか。

- a. [ná:zəl ナーザル] b. [né:zəl ネイザウ] c. [né:zəl ネイズウ]

答えはcです。aはローマ字式で英語とは離れています。bは英語のあいまい音が出ていません。cが正解なのは、英語の発音の決まりを守っているからです。

英語を不十分にしか学習していない段階で英語母語話者が見るアルファベット文字を見て発音を予測するのは、振り仮名なしで難しい漢字を読もうとするのと同じく、自己流になります。to be を「トベ」と言ったり、traumaを「トラウマ」と言うのと同じです。

文部科学省の科学研究費を利用した「英語が使える日本人のための発音指導」の研究が、主として本学科の島岡研究室で行われています。この研究の成果として作成した『発音記号の基礎練習』には文部科学省検定教科書 Sunshine English Course の1巻の1課から10課が発音記号で書かれています。



この小冊子『発音記号の基礎練習』を差し上げます (送料別)
FAX申し込み先: 047-363-1401 (外国語学科 島岡研究室宛)
※お名前、ご住所、必要冊数を明記してください。(先着100名様)

読売新聞社主催 第七十六回新人演奏会



松浦真由美さん



千吉良優子さん

青葉が目にしみる晴れやかな日、五月六日(土)、七日(日)の二日間読売新聞社主催第七十六回新人演奏会が東京文化会館大ホールで開催されました。

聖徳大学音楽文化学科からは本年度卒業生フルートの松浦真由美さんが代表としてジョルジュ・ユー作曲のファンタジーを演奏しました。伴奏は千吉良優子さんです。

読売新聞社が主催する音楽大学卒業生年次生の演奏会。一九三〇年に始まり七十有余年の歴史をもつ国内で最も古い伝統と実績を誇り、音楽大学で専門教育を受けた人たちの登竜門であり、各音楽大学の首席卒業生が推薦をうけ出演できる最も権威ある新人演奏会である。

松戸ウォークラリー大会



生涯学習研究所 学生と地域市民との協働企画による

千葉県松戸市民と学生が集い、第一回松戸ウォークラリー大会(聖徳大学生涯学習研究所 実行委員主催、学術フロンティア推進事業一環)が三月二十五日(土)、松戸駅東口周辺で開催されました。

「地域再発見」をテーマとした本大会では、約百名の松戸市民が参加しました。当日には、ボランティアとして、聖徳大学の女子学生と附属高校生、千葉大学学生、松戸市内のまちづくり連絡協議会等の市民など約六十名がコースポイントに立ち、参加者を見守りました。

ウォークラリー大会開催

「若者就労支援フォーラム」開催
松戸市主催
キャリア支援室
六月三日(土)本学十号館にて松戸市主催「若者就労支援フォーラム」が開催されました。

「キャリア教育」に向けての取り組み
短大部・総合文化学科では、キャリア支援室、知財戦略課と協力して、変貌する現代社会や多様化する現代学生に即応した、新しい「キャリア教育プログラム」を作成し、本年度より実施しています。

何が「必要なものか?」「我々が町(市)が何をしなければならぬのか?」「若者として何をすべきか?」という点を見つけ、働く意義を深めてもらいたいと思います。また、この機会を機に学校と地域と連携した就労支援体制の新しい取り組みを見いだし今後のキャリア教育への第一歩を踏み出します。

幼児教育専門学校

だより

SOFIで友だちがたくさんできました。

(セイトク・オリエンテーション・フレンドシップツアー)



で実施できました。また、二・三年生の新入生へのアドバイスや指導の様子は、とてもたくましく、成長した様子が感じられました。今後の学生生活に期待いたします。親睦の深まった友だちと有意義な時間を過ごすことが出来ました。この二日間を今後、充実した学生生活につなげてもらいたいと思います。

標として「笑顔の聖徳」を目指しており、今回も元NHKアナウンサーの久下葉子さんをお迎えして「笑顔講座」を行いました。



受講した二年生の感想をいくつか挙げますと、「どんな場面でも笑顔があるのとならないのは全く違います。笑顔とは魔法のようなもの」、「笑顔になる十の言葉」で「喜んで・お先にどうぞ・しあわせ・大丈夫・きれいだなあ・くで良かった・おいしかった・くしましよ・今日も一日がんばろう・ありがと」を素直に言えるようになりたい、「笑顔は周りの人を笑顔にし、その場の空気も一瞬に和やかに幸せを感じる場所になります。笑顔はすごいパワーがあります」、「一回目の講座の時よりも笑顔の大切さを知りました」などがありました。

総合演習 「笑顔講座」心からの笑顔をパートナーと

一年生は、五月二十七日(土)、二・三年生は四月六日(木)、在校生オリエンテーションの「笑顔講座」を実施しました。専門学校では生活目

また、一年生は「笑顔講座」を体験して、始めは何をするのかわからず緊張していましたが、学生の様子は今まで以上にいい表情が加わり成果が見られました。この講座を今後の生活や学習等に活かして、がんばってもらいたいと思います。

保護者の授業見学のご案内

例年、保護者の方に好評をいただいております授業見学を本年度も実施いたします。この授業見学は、日頃の授業への取り組み姿勢等をご覧いただき、保護者の方へ授業や学生生活などに関心を持っていただくために行っております。ご趣旨をご理解いただきご参加をお願いいたします。

保護者の授業見学について

- 【期間】
 - ◎前期(1学期) 平成18年5月1日(月)～7月7日(金)
 - ◎後期(2学期) 平成18年10月2日(月)～平成19年1月19日(金)
- 【見学時間】
 - 月曜日～金曜日 (1時限目～7時限目・全授業)

※土曜日は、実習オリエンテーションおよび補講等を実施いたします。不定期ですのでお問い合わせの上、お申し込みください。

※ご案内いたしました、授業見学申込書でお申し込みください。

※ご質問・お問い合わせは、本校 学生サポートセンターまで遠慮せずにご連絡ください。

第24回 聖徳大学附属中学校・高等学校 入学式



去る四月九日(日)、第二十四回入学式が挙行されました。中では「これから本学で学ぶ

と、素晴らしい人になってください。」と激励の言葉を贈られました。また、校長先生からは、本年度からスタートする吹奏楽コースの紹介を含め、「一生懸命、学習や部活動や委員会活動に励んでください。」と意欲に満ちた生徒たちに、その道を示して頂きました。

小笠原流礼法御宗家による 特別授業

附属中学校・高等学校



し、中でも新入学年の学年主任は両名共、教員礼法研修を終了し、三月に御宗家より小笠原流礼法花鬘の伝の許状をあたえられているので熱心に取り組んでいました。短い授業時間の中で御宗家より、小笠原流礼法で最も大切な事とされる『相手思いやる心遣い』をはじめとし、それを具体的にどのよう形に表現するかを、お辞儀の仕方や電話のかけ



特別授業を行う御宗家

が持つてくれば、きっと素晴らしい地球になるだろうと思ふ」などの感想が寄せられました。新入生にとって貴重な授業として有意義な授業でした。

日中交流新体操芸術競技会に出場して

聖徳中学校・高等学校



四月一日(土)、中国・北京市内の北京体育大学にて日本と中国のジュニアからシニアまで(小学校三年生から大学四年生まで)の二百名の選手が集まり、友好交流を目的に、お互いの芸術性を高めあう競技会が開

催されました。本校新体操部の二年生二名・一年生五名の計七名は、初めての海外遠征にもかかわらず日頃の練習の成果を発揮し、団体においてはオリジナリティー賞を頂きました。全員にピンク水晶の楯と賞状を頂き、中国の国際審判員の先生方より高い評価を頂きました。中国のナショナルチームと同じ場で競技できたこと、なみなみならぬ経験をさせて頂いたことに深く感謝申し上げます。報告させて頂いた後、今後さらに精進いたします。

ミスダンスドリルチーム USA大会に出場

聖徳中学校・高等学校



ディズニーランドでの演技

とができ、部門別三位入賞という結果を得ることができました。また今回は、カリフォルニアのデイズニールランド開園五十周年記念パフォーマンス出演というおまけつきで、部員たちには貴重で有意義、かつ喜び多い体験となったようです。



昨年度のミスダンスドリルチーム日本大会リリカル部門優勝の結果を受けて、同USA大会に出場してまいりました。新メンバーの苦しいチャレンジとなりましたが、現時点での持っている力は最大限に発揮するこ



ドリルタイムで基礎固め

附属小学校

頑丈な建物には、しっかりと基礎が必要で、高い学力を獲得させるためには、しっかりと「基礎力」を身に付けさせる

必要があり。繰り返しの「ドリル学習」は、その基礎固めに当たる学習と言えます。

本校では四月より、毎日十分間の「ドリルタイム」が新設されました。「読み書き計算」の基礎力習得をねらった、継続的な学習です。一学期中は、各学年ごとに試行しながらの実施となります。今後は、満点を取った次の課題に進むこと

ができる完全習得学習的な考えを生かしたプリント学習の実施を検討しています。ドリルに対する児童の反応は、様々です。実際は、「ドリル学習」に対して好意的な子もいれば、そうでない子もいます。「ドリルタイム」を実施するだけでなく、その意義も伝え、児童のやる気に火をつける働きかけも欠かせません。

「ドリルタイム」により「万全な基礎力」を身に付けた聖徳の子が、普段の授業との相乗効果により、さらに高い学力に飛躍できることを強く願っています。

附属小学校 同窓会 秋和会

二十一世紀を担う 聖徳の子 二十一年目の輝け聖徳

一、式典の挙行

昨年、小学校は記念すべき開校二十周年を迎え、平成十七年十月二十九日(土)に記念式典を挙行することができました。

開校当時は六十九名でスタートした児童数も、今年度は五百七名となり、今までで最高の在校児童数となりました。卒業生が積み上げてきた伝統を大切に引き継ぎ、聖徳の子として頑張ろうと意欲に燃えています。

また、この三月で、小学校を卒業した同窓生は千八十五名となりました。現在は第一回卒業生を筆頭に、それに続く同窓生たちも数多



児童と積極的に関わる嶋崎会長

二、会長の紹介

聖徳学園として同窓会連合会が発足したのを機会に、小学校は同窓会規約を変更し、「秋和会」会長に第一回の卒業生である嶋崎亨大さんを委嘱し、就任していただきました。現在、歯科医師として活躍されている嶋崎さんを中心に、今後同窓会の活動を推進していきたいと思えます。ご協力宜しく願います。

歯科医師として働かれています。嶋崎さんは、昨年度会長に就任されてから特別講師として小学校に来てくださいました。小学生の頃からの夢だった歯科医師になり、社会に出て夢を叶えた卒業生代表として、一年生

三、嶋崎会長による抱負



「正しい歯の磨き方」を教える嶋崎会長

今年、校風と伝統を大切に引き継ぎながら素晴らしい学校に発展してきていくことを、卒業生として誇らしく思います。しかし同窓



附属浦安幼稚園

保育参観

浦安幼稚園では、四月十九日(水)、二十一日(金)、二十二日(土)と三日間各学年ごとの、今年度最初の保育参観を行いました。

今でも卒業生の心に残る「このほり集会」。夢や目標をのせて泳いだ卒業生たちのこのほりは、今でも運動会で泳いでいます。「ミュージカルセブタ」や「全校ペーレント」は、二十一年前からずっと変わらず聖徳の子の財産として引き継がれています。今年の聖徳祭は十月二十二日(日)です。機会がありましたら、「生命の樹」の壁画を眺めに小学校に足をお運び下さい。是非、皆様お誘い合わせのうえ母校にお越し下さい。

参観は、新しいクラスでの見られました。進級した園児達は、新しいクラスでの姿を保護者に見て頂くので、ふだん活発な子、集団で落ち着かない子も大張り切りです。入園したばかりの園児達は、母親のそばを泣いて離れられずいたり、母親を気にして何も出来なくなったり、逆に興奮して妙にはしゃいで、座ってられず、自分の思いのままに立ち歩いている姿も見られます。



参観後は、クラスで懇談会を開き、円座になって保護者の方に自己紹介をして頂き、緊張の中にも和気藹々とした雰囲気がありました。今後とも、保育参観だけでなく幼稚園が子育ての情報発信拠点、コミュニケーションを通して保護者の友だち作り、そして教養を高めて、地域にも開かれた園に行きたいと考えています。

幼稚園短信

ペスタロッチ研究所所長及び前所長来園

附属幼稚園

新緑の季節を迎えた四月十八日(火)、スイスにあるペスタロッチ研究所から所長のアリソン先生と前所長のヴァリデル先生が附属幼稚園に来園されました。ペスタロッチは教育学の先駆者として、フレーベル(幼稚園の創始者)などに影響を与え、今でもその思想を学ぶ教育者が研究所で学んでおり、聖徳大学でも十



(左から)ヴァリデル先生、児童学科 志賀先生、アリソン先生、川並園長先生

「子どもの日」も近いこと

園長先生も一九八八年には当研究所を訪れ今も友好を深められていることから、今回は園長先生の案内で附属幼稚園園内を見学されました。

園長先生も「世界共通の遊びですね」と話されました。また、廊下に展示されている園児の折り紙のシンボルマークをご覧になり、園長先生から「三歳児でも折



参観後は、クラスで懇談会を開き、円座になって保護者の方に自己紹介をして頂き、緊張の中にも和気藹々とした雰囲気がありました。今後とも、保育参観だけでなく幼稚園が子育ての情報発信拠点、コミュニケーションを通して保護者の友だち作り、そして教養を高めて、地域にも開かれた園に行きたいと考えています。

毎月のお楽しみは お誕生会

三田幼稚園

「僕は四歳になったんだよ」「私は〇月生まれよ」と誕生会を楽しみにしている園児がたくさんいます。誕生会が行われる日には朝からウキウキして登園してき



ます。幼稚園の先生が作るオリジナルのお誕生カードに手形を押ししたり、担任よりお祝いのメッセージを書いたり、身長・体重を計り記入したりします。そして同じ学年の同じ月に生まれたお友達との記念写真撮影をしてカードに貼ったものと、かわいいペンダントをいただきます。お誕生会ではみんなで広いお部屋に集まり誕生児は舞台の上に乗って少し緊張気味ですが自分のクラスと名前を大きな声で発表します。園長先生からお誕生プレゼントを頂く時も「ありがとうございませす」とお礼の言葉が言えませんが、やはり学年や誕生月によって「ありがとうございませす」ではなく「おめでとございませす」と返事をしたりする姿が見られること

もありません。しかしながらみんなの前でお誕生会をお祝いしていただくことに喜びを感じたり自信を持つことが出来ています。誕生会後の給食には手作りのデザート(プリン・ゼリー・フルーツポンチ等)がつき給食の時間も楽しみにしているようです。



いくつになっても嬉しい誕生日は成長を喜ぶことも大切ですがこの世に送り出してくださった方々に成長の報告もできることと思えます。おめでとの言葉で終わってしまうことのない意味の深い誕生会でありたいと思います。

いますが、自分の誕生日も両親に感謝し誕生を喜んでくださった方々に成長の報告もできることと思えます。おめでとの言葉で終わってしまうことのない意味の深い誕生会でありたいと思います。

子育て支援 パンダ・うさぎ組 スタート!!

附属第二幼稚園

子育て支援二才児学級にこころも組もも組を実施して七年。週三日、一日二時間の保育で地域にも定着して参りました。さ



らに今年度四月から従来のもも組に加えて在園児と同様の保育時間で「パンダ・うさぎ組」をスタートさせました。時代の流れと共に保護者や地域社会の幼稚園に対するニーズが多様化する中で、人間形成の基礎が培われる極めて重要な幼児期の育ちをどう支援していくかが大きな課題です。幼児達にとって初めての集団生活。家庭での経験の差、個人差が大きい為一人ひとりの発達段階や発達過程を理解した保育、そして保護者の方には、本園の教育活動や教育環境に対して理解と連携を十分図りながら幼児達の健全な成長につなげて参りたいと思っております。

四月四日に入会式を終えた幼児達は幼稚園生活のリズムにも慣れ、期待を持って笑顔で登園できるようになってきました。靴やかばん、タオルなどの自分の所持品の置き場所の理解、保育者の話を聞いたり絵本を読んでもらう時の落ち着いた態度、遊んだ後の片づけの仕方、



おやつ、給食を頂く時の行儀の良さやうれしそうなお表情。私達が予想していた以上に二才児の吸収力は早く、指導の成果を毎日実感する事ができ、大きな驚きと喜びを感じております。それだけに今の時期に見合った適切な保育者の援助の大切さを痛感しております。基本的な生活習慣の習得と、自立に向けて多くの時間を費やすことになると思いますが「預けてよかった」と満足して預ける「パンダ・うさぎ組」の楽しい幼稚園、そして心身共に健康でいつもここに元気な子どもづくりを目指して参りたいと思っております。

園児達は年に六回の防災訓練を実施しています。初めは防災帽子をかぶることさえままならない園児達が一年経つと自分で素早くかぶれるようになり、自分の身は自分で守ろうとする気持ちが出てきます。保護者の方へも、関東地区地震予知情報の発令、そ

内科検診・歯科検診

八王子中央幼稚園

入園・進級してからすぐに内科検診や歯科検診を行っています。内科検診は学期毎に行っていて五月の検診の際には先生の白衣に驚いて泣いてしまう新入園の園児や緊張してしまう進級の園児の姿が見られます。しかし、二・三学期になると、自分の体の事を先生に話す園児や園生活に慣れてきて、体を沢山動かしたりしていく中で自分の体の

成長に興味を持ったり丈夫な体作りについて関心を持つたりする姿が見られるようになってきます。又、二月の検診では泣く園児もなく内科検診の意味を理解して受診出来るようになってきています。又、五月に行う歯科検診においてはやはり先生の白いマスクや白衣姿に口を大きくあける事がなかなか出来なかつたり虫歯が多く歯みがきを自分からあまりしていなかったりする子ども達も、そこで抜かれました。怖いのではないかと、口の中を見て、

先生から「きれいだね」「虫歯がないね」「もう少し磨こうね」と言われ、ホッとしている園児の姿も見られます。歯を丈夫にする事や歯みがきの大切さに気付き、食後はきちんと歯みがきをしようとする気持ちが目芽えたり自分から積極的に磨こうとしたりする姿が見られ毎年内科検診・歯科検診はとて



も良い経験になっています。

園児引き取り訓練

多摩中央幼稚園

園児達は年に六回の防災訓練を実施しています。初めは防災帽子をかぶることさえままならない園児達が一年経つと自分で素早くかぶれるようになり、自分の身は自分で守ろうとする気持ちが出てきます。保護者の方へも、関東地区地震予知情報の発令、そ

他の災害が生じた場合を想定した「園児引き取り訓練」の実施を年に一回行っています。自宅から幼稚園までの公共交通機関を利用し、所要時間並びに交通手段を把握して幼稚園に到着して頂き、園児を引き取る訓練です。また同時に、消火器の使い方や応急手当の仕方や、起震車の体験などの講習や訓練を行っています。いざという時にとっても大事な訓練のため、保護者の方々も積極的に参加し、特に消火器の使い方や起震車体験は自主的に取り組む姿も見られています。そんな様子を園児達が見学することによって園児達にとっても貴重な経験となっています。火災、事故は自ら防ぐことができますが、天災はいつ起こるか分かりません。「備え有れば憂いなし」という通り、日頃から訓練の大切さを感じることができ、幼稚園だけでなく家庭でも役立つものとして評価頂いております。

桜の花が満開に咲き乱れる四月三日(月)、第三十一回聖徳大学附属第三幼稚園の入園式が行なわれました。少し大きめの新しい制服を身につけお父様、お母様に手を引かれて新しく幼稚園に入るお友達がやって来ました。お母様と別れて椅子に座ると急に不安になり泣き出したり、「ママ」と言ったり席を立ち歩いたりする姿も見られましたが、式が始まり、園長先生の話が始まると泣いていた声もぴたりと止まり、園長先生が用意してくださったペープサートを見ながら一生懸命お話を聞こうとしていました。そして先生達のハンドベルの演奏が始まるとハンドベルのきれいな音色に口を開けて聞き入っている姿も見られました。そんな姿を見て

入園式・進級式

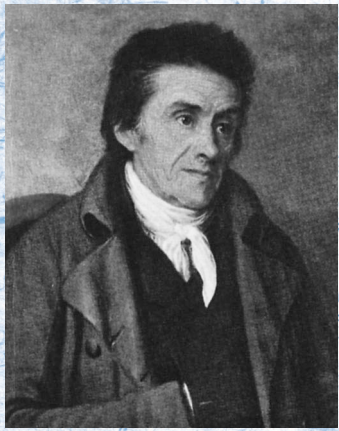
附属第三幼稚園

いた保護者の方々も少しほつとされていたようです。式が終わり、先生からプレゼントをいただきニコニコ笑顔で写真を撮るたくさん撮って明日からの幼稚園に期待と少しの不安を抱いて帰っていかれました。午後からは、進級式が行なわれました。クラス発表用紙を見て新しいクラスや担任の先生に歓喜の声をあげ喜び勇んで式に参加していました。進級式は落ち着いた物で、泣く姿などはなく園長先生の「心の話」を真剣に聞いていました。たとえ一年でも保育経験があるとこんなにも落ち着いて話が聞けるようになる物だと改めて感じる事ができました。

これから始まる幼稚園生活、又新しく進級したクラスで過ごす新しい生活に期待している園児達に十分答えられるよう、教職員一同準備万端整えて全園児を迎えていこうと思っております。

聖徳大学附属幼稚園
創立40周年記念

特別展覧会
教育学の先駆者
ペスタロッチ展
開催中!



聖徳大学松戸キャンパス内にある附属幼稚園は、昭和41(1966)年に開設、本年が40周年になります。これを機に、本学が世界各地から収集し、保管している幼児教育・女性教育に関する資料の中から、教育学の先駆者であるヨハン・ハインリッヒ・ペスタロッチに関する初版本や自筆原稿などを、本学ギャラリーにおいて初めて公開しております。

ペスタロッチは、スイスのチューリヒで1746年1月12日に生まれました。ちょうど本年が生誕260年になりますが、19世紀初期における最も著名な教育者であり、彼が生み出した教育理論は世界中で取り入れられ、実践されてきました。本年、本学人文学部に新設の生涯教育文化学科は、その教育目標の一つに、地域社会の教育文化に貢献する人材の育成や「まちおこし」にあります。こうした地域における教育活動の重要性を初めて説いたのがペスタロッチでした。さらに、貧しさから救われる方法は教育とその環境であると説き、さまざまな施設をつくりました。200年前の1806年には、女性としてのしつけを身につけるための学校をイヴェルドンに創設しました。そこでは、保育者の養成なども行っておりましたが、よく耳にする「良妻賢母」の教育が行われていました。

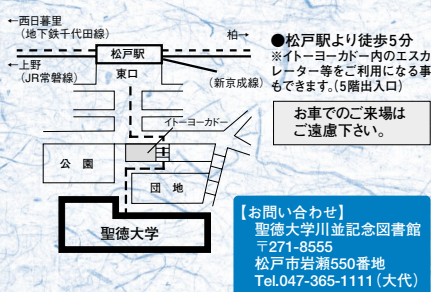
本学の児童学科の海外研修では、このイヴェルドンを訪れ、伝統あるヨーロッパ教育に直接触れる機会を設けています。この機会に教育の原点を理解する上で欠かすことのできないペスタロッチの実物資料をご覧いただき、教育とは何かについて、あらためて考える場となれば幸いです。

本学の児童学科の海外研修では、このイヴェルドンを訪れ、伝統あるヨーロッパ教育に直接触れる機会を設けています。

この機会に教育の原点を理解する上で欠かすことのできないペスタロッチの実物資料をご覧いただき、教育とは何かについて、あらためて考える場となれば幸いです。

会期:平成18年4月17日(月)~9月30日(土)
午前9時~午後5時
(休館 毎日曜日・祝日と学事日程による休業日)
会場:聖徳大学3号館
クリスタルホール ギャラリー

■聖徳大学へお越しの際は電車をご利用下さい。



「保育の聖徳」夏の伝統行事

第39回 SEITOKU夏期保育大学

7月29日
開催!

保育・幼児教育分野で、長きにわたる伝統と実績を誇る本学が、この夏も自信をもって開催いたしますのが、「SEITOKU夏期保育大学」です。今年で39回目を数える恒例行事ですが、今年度は、「子どもを守る」を考える”を総合テーマに、全体会と9分科会で構成されています。

全体会の講演には、脳科学がご専門で、脳を鍛えるDS用ソフトの監修でもおなじみの、東北大学加齢医学研究所教授・川島隆太先生を講師としてお迎えし、脳を鍛えるコツなどについてのお話をじっくりとかがいします。

また、午後の分科会では、総合テーマに基づいた細かい事例や、保育の現場ですぐ活用できる内容など、9分科会をご用意し、ご参加くださった皆様同士の交流を深めながら、実り多いひとときをお過ごしいただきたいと思ひます。

保育現場の先生方にとどまらず、育児に携わられているお母さま方にも、十分ご満足いただける内容となっておりますので、ぜひ、多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

第39回 SEITOKU夏期保育大学

- 日時:平成18年7月29日(土) 10時~16時
会場:聖徳大学松戸キャンパス
総合テーマ:「子どもを守る」を考える
全体会:講演「脳を知り、脳を育む」
講師/東北大学加齢医学研究所教授・川島 隆太 先生
分科会:「食育」を柱に保育を考える
園の安全・危機管理を見直す
子どもの生活リズムを守る
よりよいコミュニケーションのために
たのしく 手あそび 歌あそび
これからの子育て支援を考える
楽しい人形劇
気になる子どもの援助
子どもの感性を守り育てる
受講料:一般5,000円 本学卒業生4,000円

【お問い合わせ】
お申込みは
聖徳大学生涯学習課
Tel.047-365-3601
(直通)までどうぞ

夏の計画はお早めに

野村記念 海の家

福島県いわき市勿来町九面九浦71



野村記念海の家は、福島県と茨城県の県境にあり、目と鼻の先には遠浅で美しい砂浜が広がる勿来海水浴場があります。また、海の家は1グループ単位での貸切利用となりますので、周囲を気にすることなく過ごせるのもメリットの1つです!

ご予約は理事長企画渉外課第3グループ(047-365-1111内線3962~63)まで!

聖徳学園 山中湖荘

山梨県南都留郡山中湖村平野506



山中湖周辺は、標高1,000メートル前後のなだらかな起伏の高原地帯で、夏の平均気温も20度前後と過ごしやすく、軽井沢などと並び避暑地として人気です。

またアクセスも、新宿から高速バスで約2時間20分(2,000円)と便利です!

ご予約は現地フロント(0555-62-3111)まで!

信州春日温泉 かすが荘

長野県佐久市春日2258-1



東京から約2時間、長野県は八ヶ岳北端にかすが荘があります。かすが荘には人気の露天風呂はもちろん、プールなどのスポーツ施設やバーベキュー広場など各種施設が充実しており、ファミリーからお友達のグループなどまで、様々な楽しみ方ができます。

また周辺には各種旧跡、少し足を伸ばせば人気の軽井沢アウトレットモールなどもございます。

ご予約は現地フロント(0267-52-2111)まで!

Table with 3 columns: Category, Kasuga-so, Yamanakasei. Rows include Student, Child, Staff, Graduate, and School-related.

※()は夏季特別料金(8月1日~8月31日)になります。なお「かすが荘」は、お部屋により若干料金が異なります。※「海の家」の宿泊料金は、お1人様1泊、2100円になります。

本学園ホームページからも詳細をご覧いただけます。http://www.seitoku.jp/gakuen/house/

【聖徳大学・聖徳大学短期大学部/入試関係行事のご案内】



平成18年度 予約不要 入退場自由

オープンキャンパス

服装は自由。保護者・先生も大歓迎!!

オープンキャンパスは3つのシリーズに分かれています。ぜひそれぞれのシリーズにお越しください。

— I. 受験準備シリーズ —

- 6月11日[日] 13:00~17:00 「入試」ごとの効果的な受験勉強の方法を説明します
6月25日[日] 13:00~17:00 AO入試必勝講座

— II. 体験授業シリーズ —

- 7月23日[日] 13:00~17:00 大学の授業を受けてみよう
8月6日[日] 10:30~17:00 聖徳の学生を1日体験しよう
8月20日[日] 10:30~13:00 高校1・2年生集まれ! ひと足お先にキャンパス体験 13:00~17:00 AO入試前日程締切直前講座

— III. 絶対合格シリーズ —

- 9月10日[日] 13:00~17:00 これだけはチェックしておきたい推薦入試必勝講座
9月24日[日] 13:00~17:00 児童学科、保育科、社会福祉学科、介護福祉学科を目指す人の入試必勝講座
10月15日[日] 13:00~17:00 この準備が合格を分ける! 推薦入試直前必勝講座
11月11日[土]・12日[日] 10:00~15:00 後期推薦入試とAO入試の合格講座
12月23日[祝・土] 13:00~17:00 一般入試必勝講座
平成19年(2007年)
2月11日[日] 10:30~13:00 高校1・2年生集まれ! 受験勉強の方法をアドバイスします 13:00~17:00 これから受験できる一般入試必勝講座

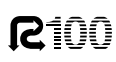
お待ちしております!

【お問い合わせ】
アドミッションセンター
0120-66-5531 ※駐車場がないため、公共交通機関をご利用いただき、お車でのご来校はご遠慮ください。

学校法人 東京聖徳学園

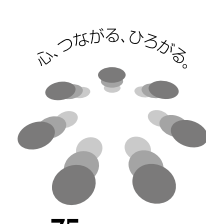
〒108-0073
東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

発行人 川並弘昭
編集 理事長室 企画渉外課
06.6.1 re (28.)



この印刷物は古紙配合率100%再生紙を使用しています。

この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。



読者の欄

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆様の広報誌です。つきましてはインターネットを利用して皆様の聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。お手数ですがご協力のほどよろしくお願いいたします。

今後、ますます充実させていきたいと思ひますので、是非皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

〈アンケートURL〉 http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/index.html

〈ご意見・ご感想の宛て先〉

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネットからは http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/ の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)